

Agri Culture

第42号(2011年1月1日)

有田ノカルチャー



[発行元]

有田振興局地域振興部農業振興課

有田郡湯浅町湯浅 2355-1

TEL: 0737-64-1273

FAX: 0737-64-1274



湯浅町湯浅伝統的建造物群保存地区（休憩所「岡正」）での研修風景

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素は、県行政とりわけ農業振興に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、一昨年 of 政権交代に伴い国の農政も大きく変化し、今年度から始まった米所得補償制度に代表されるように、補助金から所得補償へと転換するとともに、農山漁村の6次産業化の推進を柱とした方向に動いています。

県といたしましても、国の施策を充分活用しながら、昨年3月に策定した「農業緊急戦略アクション

プログラム」に従い、生産対策・担い手対策・農地対策を実施してまいります。また、当課でも農産物価格の低迷や担い手の減少、農作物の鳥獣被害など、有田地域の課題解決に向け、各種施策の活用を図りながら皆様とともに、職員一丸となって取り組む所存でございますので、農業者の皆様並びに関係機関の皆様方には、本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

有田振興局 地域振興部 農業振興課 課長 片山 泰弘
職員一同



活動紹介

■ 有田地方農業士協議会



有田地方農業士協議会では、有田の地域農業の活性化に向け、様々な取り組みを行っています。その一つに毎年研修会を実施しており、本年度は、(株)野澤技研の野澤三郎代表取締役から「生命理論」と題した講演と、県農林水産総務課及び果樹試験場から「農業緊急戦略アクションプログラム」等の情報提供が行われ、多くの会員が参加しました。

■ 有田地方4Hクラブ連絡協議会



お互いの知識と技術を競い合う技術交換大会が有田地域で平成22年4月28日に開催され、高得点を獲得して代表となった8名が、5月13日に開催された和歌山県農村青少年技術交換大会に出場し、1位、2位、4位を獲得しました。また、9月5日(日)に、4Hクラブ員

11名と和歌山県内の女性12名が参加のなか、農村青年交流会が開催され、六甲山牧場でのバター作りや神戸布引ハーブ園でのアロマ石鹸作りを体験し、神戸を海から楽しむディナークルーズに出かけました。海からの神戸の景色や明石海峡大橋の夕焼け、神戸の夜景をジャズを聴きながら楽しい時間を過ごしました。

■ 有田地方生活研究グループ連絡協議会



地産地消や食育の取り組み・加工品開発を中心に活動しています。今年度は視察研修や、リーダー研修会を行いました。

リーダー研修会では、和歌山市内で多く作られている新生姜を使った夏バテ防止料理等の講習を行いました。

■ 有田ネット21



青年農業者33名で組織し、パソコンを使って農業経営管理や情報交換、さらにはパソコン初心者には操作方法などを指導しています。

また講師を招いての農業技術の研修会や経営管理方法の研修会も開催し、技術の研鑽を積んでいます。

活動紹介



■有田地方農業士・4Hクラブ合同研修会

本年度は湯浅町の優良3園地(みかん園地改造園、アスパラ栽培園、観光ぶどう・ブルーベリー園)の他、湯浅町湯浅伝統的建造物群保存地区の語り部による見学、湯浅町農業士会による農産物直売所の見学も行われ、農業士会、4Hクラブから多くの会員が参加しました。

農業教育支援・食育活動

◎御霊小学校

みかんの摘果及び収穫体験を行いました。収穫体験では、はさみをもって実際に収穫し、試食も行いました。その後糖度を測りましたが、子供達は初めての経験に興味津々で取り組んでいました。



◎保田小学校

地元農業士の指導のもと、みかんの摘果および収穫体験を行いました。収穫後はみかんを搾ってジュースを作り、収穫したての味を楽しみました。



◎藤並小学校

摘果ミカンの有効利用をはかるため、果汁入り石けんを作りました。果汁を搾ったり、廃油を混ぜたりと初めての作業に真剣に取り組んでいました。



◎山田小学校 田栖川小学校 田村小学校 港小学校

和歌山まるごと食体験事業「梅加工体験」を行いました。生活研究グループ員の指導のもと、みんなで楽しく梅干し作りと、梅ジュース作りを行いました。



普及活動

高糖度高原トマト“おひさまとまと”の ブランド育成と販路拡大

生石高原野菜共撰出荷組合は、現在組合員16名、栽培面積4.1haで昭和30年代後半からトマトの夏秋雨よけ栽培に取り組んでいる歴史ある組合です。有田川町生石地区は、標高400m～600mの南向きで、日当たりの良さと昼夜の温度差の大きい気象条件を生かし、実の締まった濃厚でコクのある美味しいトマトが生産されています。

近年、農産物市場の販売単価が低迷し販売金額が減少している中、フルーツトマト等のブランド力のあるトマトは高単価で取引されています。そこで、平成20年度に秀品で糖度7度以上の高糖度トマトを‘おひさまとまと’として商標を取得し、平成21年度に約0.4tを出荷しました。

今年度より新農林水産業戦略プロジェクト事業を活用して、‘おひさまとまと’のブランド育成と販路拡大に取り組んでいます。

【平成22年度の取り組み】

- 1) 高糖度トマトを生産するため、簡易雨よけ栽培では温州みかん等で活用されている透水性耐水マルチを敷設しました。
- 2) 雨よけハウス栽培とともに土壌水分計を設置し、土壌水分と糖度との関係を調べ、適正な水分管理の方法を検討しています。
- 3) 糖度のバラツキをなくすため、非破壊糖度計を導入し秀品果実の測定を行っています。
- 4) 多様な階級に対応した、果実の傷みをなくすパックの試作検討を行っています。
- 5) ‘おひさまとまと’の初出荷時には、岸和田市の量販店で試食宣伝販売をおこないました。

表 試験区(マルチ敷設区)と対照区の糖度

	10/5調査	10/25調査
試験区	7.3度	7.6度
対照区	6.8度	6.4度

※各区20果平均



今後も“おひさまとまと”のブランド定着に向け、活動を支援していきます。

環境保全型農業への取り組み支援

■ 現地研修会の開催

農産物の安全安心に対する消費者意識が高まっており、温州みかんを中心にエコファーマーの認定や研修会の開催等、環境保全型農業に対する支援を行っています。今年度は、10月8日に有田市宮原町の温州みかん有機栽培園において、研修を実施しました。県内各地から44名の出席があり、病害虫の対応や出荷・販売の方法等についての質問が多く出されました。その後、果樹試験場に移



動し、環境保全型農業に関する試験研究成果の発表後、意見交換を行いました。他の地域の有機栽培実践者から取り組み事例の発表もあり、出席者の知識向上や交流が図られました。

鳥獣害対策への取り組み紹介

■ 鳥獣被害対策技術指導者育成事業研修会の開催

平成22年10月28日(木)、29日(金)の両日、有田川町の県農林水産総合技術センターにおいて、県内外の市町、JA、NOSAI、府県の担当者約70名参加のなか、合同会社まかく堂主催による鳥獣被害対策技術指導者育成事業研修会が開催されました。これは、近年全国で社会問題化している鳥獣による農林水産業等に係る被害を防止し、健全な地域社会づくりに資するため、専門的な知識及び技術を有する地域の指導者を育成することを目的としています。

【28日(木)】

講義：〈サルの生態および被害防除対策の基礎〉

日本獣医生命科学大学 羽山伸一氏

講義：〈イノシシの生態および被害防除対策の基礎〉

兵庫県立大学/兵庫県森林動物研究センター 坂田宏志氏

講義：〈有田川町における鳥獣被害及び対策の概要〉

有田川町産業課長 福原茂記氏

実習：〈ラジオテレメトリー調査研修〉

果樹試験場内において、ニホンザルの待ち伏せ、出没予測を行うため、電波発信機の活用方法等実習を実施。



【29日(金)】

実習：〈集落環境診断(有田川町吉原地区)〉

参加者が各グループに分かれて集落調査、動物調査を実施し、調査によって得た情報を白地図に記入することで集落が動物の侵入を許している問題点(課題)を洗い出し、その課題の対策案を検討しました。



情報提供

■ 新規就農者等の受入体制

○各振興局地域振興部農業振興課

農家子弟等新規就農者への技術指導や、新たに農業を始めたい新規就農希望者に対しての就農相談、さらには農業関連資金の紹介等、新規就農者等への支援をしています。また、農業大学校や農業大学校就農支援センターと連携して側面的にサポートしています。

○和歌山県農業大学校

農業分野への就農、新規・早期退職就農を希望の方を対象に「社会人課程」として、栽培から出荷販売まで幅広く学べ、先進農家での2週間の実戦訓練も行います。

○和歌山県農業大学校就農支援センター

新たに農業を始めたい方に対して、情報発信、就農相談、研修、就農サポートまで、就農に向けての一元的なサポートを行っています。

■ 新規就農者への補助事業等の紹介

○就農支援資金

新たに農業を始めようとする青年等に対し、実践的な研修による技術の習得、その他就農の準備、経営を開始する際の施設の整備等に必要な資金を(財)農業公社が無利子で融資し、就農を支援するものです。就農計画を作成し認定を受けることで資金を借りることが出来ます。

○こだわり農産物の推進による新規就農者確保事業

農業士等農業者が地域特性を活かしたこだわり農産物の栽培・加工に新たに取り組むための、新たな雇用に対し補助を行い、新規就農者の確保を目的としています。

○農業経営継承事業

後継者のいない農業経営を、新規就農希望者等の意欲ある人材に引き継ぐ事業です。継承のための研修期間中(半年～1年)は費用の一部について助成を受けることが出来ます。

近畿農政局男女共同参画優良事例表彰(社会参画部門)近畿農政局長賞



山本 美智和 氏 (広川町)

広川町初の女性農業委員として、農村社会における女性の地位向上の他、これまで男性社会の分野であった有田郡農地利用調整や遊休農地の解消で積極的に活躍されています。また、切葉用アスパラガスなどの新規作物の導入により自らの経営の安定化を図り、県内でも少数の女性指導農業士として地域を担う人材育成に尽力する一方、地域に先駆けて家族経営協定を締結。生活研究グループ員としても、地産地消や食育体験活動に取り組み、地域の女性に特産品づくりに向けた機運を醸成されています。

第59回全国農業コンクール園芸部門・毎日新聞和歌山支局長賞



玉置 博行 氏 (有田川町)

玉置氏は温州みかんを中心に不知火や八朔・レモンなどを栽培。平成14年県内ではいち早く温州みかんマルチドリップ方式を導入し、糖度の高い高品質果実の生産・安定に努められています。また、指導農業士として地域農業に貢献。旧古備町では、みかん総合対策推進協議会で代表も務めるなどリーダーとして活躍されています。

お知らせ



「有田みかんデータベース」では、柑橘類病虫害防除基準表や柑橘類の着花調査結果、温州みかん果実品質調査結果をはじめ、地域内の降雨状況の検索機能も備えて、情報発信を行っています。

URL : <http://www.mikan.gr.jp/>

Eメール : arida@mikan.gr.jp

携帯電話からも閲覧できます。

URL : <http://www.mikan.gr.jp/i/>

